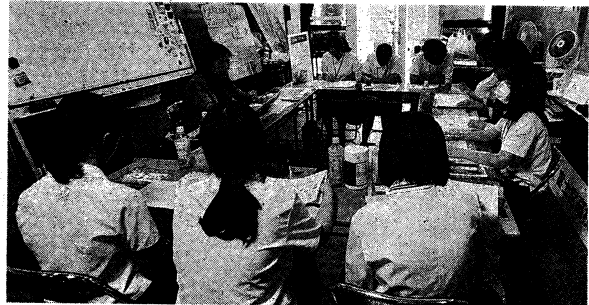


2024年(令和6年)10月17日(木曜日)

富士ニュース

マスマス元肥を返礼品に 高校会議所 ふるさと納税学ぶ



勝呂さんの話を熱心に聞き入るメンバー(提供写真)

富士宮高校会議所はこのほど、オリジナル堆肥「マスマス元肥(けんぴ)」を富士宮市のふるさと納税の返礼品とするための勉強会を西町レトロ館で実施した。

講師は、市からふるさと納税事業の業務の一部を受託しているNPO法人まちづくりトップランナーふじのみや本舗の理事・勝呂早希さんを迎えた。

同NPOは富士宮やさそば学会の運営、中心市街地活性化や観光振興、環境美化などに取り組んでおり、勝呂さんは活動内容を紹介

した上で、ふるさと納税の基本的な考え方、返礼品の規定、寄付金の活用方法、返礼品登録の申請の流れや具体的な方法などを分かりやすく説明した。

マスマス元肥は、市の魚ニジマスの残渣(ごんさ)と朝霧高原の牛ふんを原料に同会議所が開発した特産品。メンバーからは質問を重ねながら、今後の手続きの方法を熱心に聞き入り、「マスマス元肥が市のふるさと返礼品になれば、全国的な広がりが見込める」と意欲を膨らませた。